

## 中 国

## 繊維業況

## 2011 年上期の業績、安定も減速がみられる

7月14日、中国紡織工業協会は2011年上半期の中国繊維業界の業況分析と年間動向見通しを発表した。

同報告によると、上半期の中国繊維業界全体の業況は安定したものであったが、生産・販売の伸びは減速した。投資の調整が進み、新規着工プロジェクトはマイナス成長となった。繊維輸出額の成長は高かったが、数量的な伸びは鈍化した。業界の利益は下落傾向であった。2011年下半期は、繊維業界は大きな外部リスクに直面している。

生産・販売：2011年1～5月、繊維業界の工業総生産高の伸びは前年同期比30.15%増、売上生産高は前年同期比29.85%増であった。この伸びは第1四半期と比べて夫々1.47ポイント、1.65ポイント下がっている。そのうち、化繊の販売額の伸びは前年同期比15.43%増(第1四半期比-2.52ポイント)、糸は10.13%増(同-2.41ポイント)、下回った。織物は15.50%増(同-3.92ポイント)、アパレルは11.93%増(同-2.71ポイント)であった。

投資：1～5月の繊維業界全体の実際完成固定資産投資総額は前年同期比36.22%増(第1四半期比-2.29ポイント)、新規着工プロジェクトは前年同期比2.52%減とマイナス成長になった。特に、化繊業界の投資の伸びが大きく鈍化している。投資地域の構造調整は加速されており、中西部地区の投資の伸びが高い。1～5月、中部、西部地区の投資はそれぞれ前年同期比59.82%増、41.18%増で、東部地区の投資成長を32.76ポイント、14.12ポイント上回った。

繊維輸出：1～6月、繊維製品輸出額は前年同期比25.73%増の1,117億ドルとなった。この伸びは輸出価格の上昇の影響が大きく、数量的な伸びは鈍化している。

国内市場の成長：1～5月、社会消費品小売総額は前年同期比16.6%増で、そのうち、アパレル類小売額は前年同期比23.5%増となった。1～4月の全国重点百貨店のアパレル類商品販売は前年同期比25.83%増であった。

利益：1～4月、実現利益総額は前年同期比46.89%増と高い伸びであった。ただし、第1四半期よりその伸びは6.68ポイント下回った。化繊業界の利益は、1～4月の伸びは、1～3月の伸びを26.32ポイントも下回った。1～4月の業界全体の利益率は5.12%であった。規模以下企業の業績は、売上、利益とも一桁成長となり、規模以上企業の伸びを大きく下回った。

今年上半期の業況に影響を与える主な要因：国際情勢をみると、世界経済の回復は持続性を欠いており、先進国の雇用改善は遅れ、需要回復に牽引力を欠いている。国内情勢をみると、政府は、インフレ抑制の方向に政策を転換しており、中小繊維企業の融資環境は厳しくなっている。

下半期の見通し：国際市場の需要は急速には好転しないことから、輸出の伸びが抑制される。特に原料価格の下落によって、下半期の輸出価格の伸びは落ち込む可能性がある。内需は依然安定した成長を維持し、2011年年度の衣類小売額の成長は20%以上となる見通し。ただし、物価高とマクロ経済の影響からその伸びは前年より落ちる。綿花、化繊などの価格は短期的に安定することは難しい。川下企業のコスト高は緩和されるが、川上企業は、需要減、販売不振に直面する可能性がある。繊維業界は引続き大きな外部リスクに直面する中、生産、販売、利益の伸びは緩やかになる見通しである。

## ベトナム

### 新 設

#### PVTEX、初のベトナム系 ES 工場新設

PetroVietnam と VINATEX の合併会社（PVTEX）が出資する Dinh Vu Polyester Fiber はこのたび、国内で初となるベトナム資本によるポリエステル S 工場の稼働を開始した。

同工場は北部港湾都市 Hai Phong の Dinh Vu 工業団地に建設され、敷地面積は 15 ㊦、従業員数は約 700 人である。ベトナムの紡織産業は縫製に比べて未発達とされているが、今回の現地系工場の新設によってポリエステル S の国内調達率向上が期待されている。

新工場の売上目標額は年間 6 兆ベトナムドン（約 2.9 億ドル）超だが、同工場の稼働により、ベトナム国内で年間 4 億ドルの素材調達コストが削減されるとの試算も行われている。

## 米 国

### P L A

#### Nature Works、Ingeo 設備増設へ

世界最大のポリ乳酸（PLA）メーカーである NatureWorks は Nebraska 州 Blair 工場の増設を発表。高機能 Ingeo バイオポリマーの新グレード品や次世代型ラクチド中間体の製造設備を拡充する。設備は、2013 年の販売開始に合わせて来年に完成の予定。

Ingeo は植物由来のポリマーで、米農務省 BioPreferred の認可を受けており、パッケージ製品や電子部品、衣類、家庭用品、健康・パーソ

ナルケア、食器などの様々な分野に使用されている。

NatureWorks はここ 10 年間に、こうした広範な市場セグメントの開発を行い、その結果 16 種超の Ingeo 樹脂を開発している。

また、ラクチド製品にも、次世代ラクチド製品を加えることにより、ポリマー、樹脂添加物、重合調製剤、接着剤、コーティング剤、エラストマー、界面活性剤、溶剤といった分野での用途拡大が期待されている。

NatureWorks の Bill Suehr COO は、「今回の設備投資で当社の加工能力は大幅に増強される。これにより射出成型や繊維・不織布の世界市場に適応した Ingeo 製品の安定した生産体制が確立される」と語っている。

## 法 案

### AGOA、第 3 国産織物の扱いについて

米国は、アフリカ諸国に対して、2000 年のアフリカ成長機会法 (AGOA) によって特惠措置を供与している。AGOA では、サハラ以南のアフリカ諸国 (サブサハラ) で生産されたほぼすべての製品に対する免税や枠撤廃を定めており、2000 年の同法成立以後、アフリカ諸国に対して、雇用創出、輸出などで大きな成果を上げている。繊維産業においても同法は非常に大きな成果がみられ、2000 年から 2005 年の 5 年間、アフリカの対米衣類輸出は 2 倍に拡大、単純労働者 30 万人分の雇用を創出した。例えば、レソトでは雇用や外貨収入をほぼ縫製産業に頼っており、2009 年の同国の縫製産業の雇用者数はおよそ 4 万人 (85% が女性) となった。

しかし、2005 年に WTO の繊維協定 (ATC) が失効したことで、アフリカの縫製産業はアジアとの競争に直面することとなった。2005 年以降、アフリカの米国の受注の 40% がアジア低コスト国との競合で失われたといわれている。

アフリカの繊維産業の大きな課題は、衣料品の原材料である生地生産能力が不足していることである。AGOA では、アフリカ産の生地から生産された衣類のみが原則として特惠供与の対象となるが、特例規定として、アフリカ以外の第 3 国産の生地を使用し、アフリカで縫製した衣料品についても、一部無税の対象となっている。アフリカにとって、この措置の恩恵は非常に大きく、対米輸出衣料品のうち 95% がこの適用を受けているといわれている。しかし、同法の更新の際には常にこの特例規定 (第 3 国産の生地を使用した衣類への特例規定) の継続の有無について議論となってきた。先日、AGOA の延長に関して Washington 州選出の民主党議員の Jim McDermott は、本特例措置を 2015 年まで延長する法案を議会に提出した。今後、議会では法案が審議されるが、万一、法

案が通過しなければ、米国によるアフリカの貧困政策が暗礁に乗り上げるだけでなく、アフリカの経済混乱が悪化していく可能性もあるといわれている。

米国のサブアフリカからの繊維品輸入

(100万ドル)

	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010
世界計	71,692	89,205	93,279	96,410	93,187	81,006	93,279
サブハラ	776	1,486	1,315	1,316	1,177	936	803

以上